

## 第34回 全日本少年サッカー大会大分県大会 実施要項 (案)

- 1) 名 称 第34回全日本少年サッカー大会大分県大会
- 2) 主 催 (財)日本サッカー協会 (財)日本体育協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社
- 3) 主 管 (社)大分県サッカー協会 (社)大分県サッカー協会ジュニア委員会 大分県サッカースポーツ少年団
- 4) 後 援 文部科学省 日本テレビ放送網 報知新聞社 大分県教育委員会 財団法人大分県体育協会  
TOSテレビ大分
- 5) 特別協賛 南九州コカ・コーラボトリング(株) YKK 花王株式会社
- 6) 協 賛 ゼビオ 日清オイリオグループ
- 7) 期 日 平成22年6月6日(日)・13日(日)・19日(土)・20日(日)
- 8) 会 場 だいぎんサッカー・ラグビー場他大分県内各地
- 9) 参加資格 ①平成22年度大分県サッカー協会に加盟登録(第4種及び女子)された各地区代表チームであること。  
②平成10年4月2日以降に生まれた選手で構成されたチームであること。  
③参加の申し込みは、監督1名、選手20名(本大会 引率指導者6名 選手18名)までとする。選手の変更は開幕日の7日前までとする(郵送またはFAXまたはE-mailのこと)。  
④スポーツ傷害保険に必ず加入していること。
- 10) 試合方法 ①県下の参加チームの中の地区代表32チームによるトーナメント方式により県代表チームを決定する。  
②試合時間は40分とし、勝敗の決しないときはPK方式により次回戦出場を決定する。決勝のみ10間の延長を行い、なお決しないときはPK方式により代表を決定する。  
③選手の交替は、あらかじめ明記された7名の中から自由に交替できる。但し、それ以外の選手はその7名と異色のピブスを着用すればベンチには入れる。  
④試合球は4号検定球とし、各チームの持ち寄り、準決勝以降は本部で用意する。  
⑤試合規則は、平成21年度日本サッカー協会競技規則による。  
⑥競技場の大きさは、縦80m・横50m・センターサークル半径7m・ゴールエリア4m・ペナルティエリア12m・ペナルティマーク8m・アーク7m とし、ゴールポストは少年用(内のり2.15m×5m)を使用する。  
⑦大会期間中(地区大会も累計する)、2回(累計)の警告・退場を宣告された選手は次回戦に出場できない。  
⑧大会中2回戦以降、主審の判断で「**飲水タイム**」をとることもある。  
⑨雷雨の場合、「試合を中断」することもある。

- 11) 参加方法 ①申込先 別紙申し込み用紙に必要事項を記入のうえ下記宛送付して下さい。(電子メールのみ)

**5月23日(日)必着のこと。**

電子メール送付先 ofa\_oita\_area@leo.bbiq.jp

※今回より、大会参加登録のweb化を併用します。**5月30日(日)24:00**終了のこと。

<http://www.jfa.jp/jfatop/kickoff.html> より登録をお願いします。

※スタッフは、監督+2名の3名となります。

残りの3枠については、帯同審判員を登録願います。(3級以上)

その際、【帯同審判員】を選ぶのではなく、【その他】を選び、

右の空欄に、【審判S何級 Rxxxxxxxx】と掲載して下さい。

(例) **審判S3 R123456789**

※登録終了後、変更、修正、がある場合は、[t.ueno@junior.ofa.or.jp](mailto:t.ueno@junior.ofa.or.jp) まで。

②参加料 7000円 ※チーム名で振り込むこと。

《振込先》九州労働金庫大分支店 普通 3002707

安部 哲也

③抽選日 5月24日(月)午後7時~

④会場 大分市TOSテレビ大分 大ホール

※ 駐車場が限られていますので、各チームできるだけ乗り合わせて(各チーム3台以内)参加ください。

12)その他 ①大分県サッカー協会に2チーム加盟登録しているチームについては、その年度内における選手の移動及び2重登録は禁止されています。また、地区大会と県大会においては、違うチームでの出場はできません。加えて、年間を通じて同じチームで活動するチームであることとします。

選手証を、2回戦以降の試合で持参、提示する。

②開幕日の試合会場は、大分市・別府市・豊後大野市以外の各地区を優先し、2回戦以降の試合は、大分市・別府市・豊後大野市にて行う。

③ユニフォーム(ストッキングも含む)は正・副ですべて異色のものを用意し(膚女守)どちらとも背番号は選手本人と一致すること。

※背番号は1~20までの通し番号とするのが望ましい。

※シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

④出場選手の保護者の承諾は、必ず取り付けておくこと。

⑤応援のマナーや、会場の清掃については、各チームにおいて責任を持つこと。

○戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。指示を与えた後は、所定の位置に戻らなければならない。

○特に、相手チーム・審判に対する中傷は固く禁じます。

○参加チームは本部席側に椅子を置いて必ずベンチ【あらかじめ明記した指導者3名・選手9名まで】を設定し、グラウンドを挟んで後援会等の応援席とすること。

○ベンチ入りできる引率指導者3名の内1名は日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)であることが望ましい。

⑥大会最終日13:00より、「閉会式」並びに「表彰式」を行います。表彰式では優勝・準優勝チームを、「敢闘・努力・グッドマナー賞」は、代表を表彰します。

「3位」チームは、6/19(土)準決勝終了後に表彰します。

⑦○優勝チームは、第34回全日本少年サッカー決勝大会出場の義務を負うものとします。

※7/31(土)~8/7(土) 福島県Jヴィレッジサッカー場他の予定

○県大会ベスト8チームより鹿児島(吹上浜)大会に3チーム、スポ少九プロ大会に2チーム派遣する。

⑧「個人情報保護法案」の趣旨に沿って、個人情報を取り扱います。

県ジュニア委員会に提出されたエントリー申込書は、今回の大会において事務局・共同写真とチーム間の連絡手段と選手チェックにのみ利用します。

また、読売新聞に公開されるのは、選手の学年及び氏名と所属チーム名です。

他の用途には利用せず、漏洩のないように万全の管理を致します。

チーム代表者は以下の点を確認の上、申し込みをしてください。

名簿が提出された時点で、選手及び保護者が同意されたものとして取り扱わせてもらいます。

(1)個人情報を県ジュニア委員会に提出し、表記の大会に出場することに同意する。

(2)提出した名簿を県ジュニア委員会は、事務局・共同写真とチーム間の連絡手段と選手チェックに利用することに同意する。